

生成AIの実証運用(第1弾)のまとめ

令和5年10月25日 別府市 企画戦略部 情報政策課

実証運用(第1弾)の利用状況



|1|実証運用(第1弾)概要

・説明会:令和5年8月3日、4日 計5回開催 参加者計168名

・実証運用期間:令和5年8月3日~令和5年9月8日勤務日26日間

・参加者:実証運用説明会の参加者、実証運用説明会動画の視聴者

2 利用上の注意点

①質問に機密情報や個人情報を含めないこと

②回答内容はすべて信じるのではなく事実確認を行うとともに、 そのまま利用せず、参考資料として扱うこと

③公用でのWEB版(無償)のChatGPTの利用は禁止する

3 実証運用環境

・自治体AI zevo(シフトプラス株式会社)

・GPTのバージョン:GPT3.5 TURBO

4 利用状況のまとめ

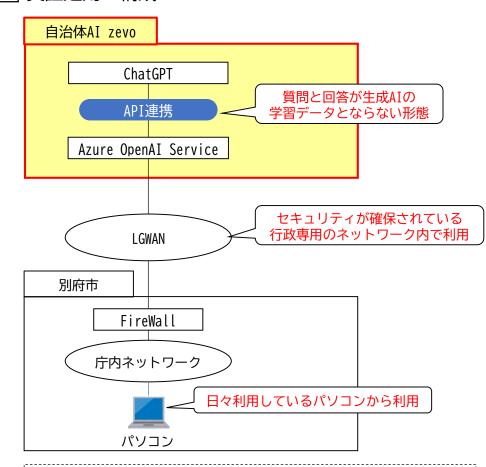
・利用文字数 : 925,538文字(質問、回答の文字数)

·質問&回答数 : 1,778回(68.3回/日)

・質問&回答文字数:521文字/質問と回答

・利用した課 :41課

5 実証運用の構成



※API (Application Programming Interface):

ソフトウェアやアプリケーションなどの一部を外部に向けて公開することにより、第三者が開発したソフトウェアと機能を共有できるようにしてくれる機能

%Azure OpenAI Service:

Microsoft Azureのクラウドプラットフォーム上で提供される、OpenAI社の人工

知能(AI)サービス

※LGWAN(総合行政ネットワーク):

地方公共団体を相互に接続する行政専用のネットワーク

実証運用(第1弾)のアンケート結果

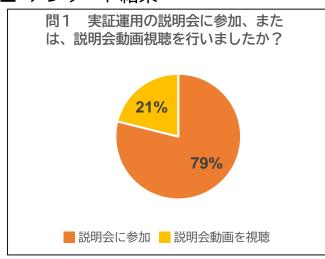


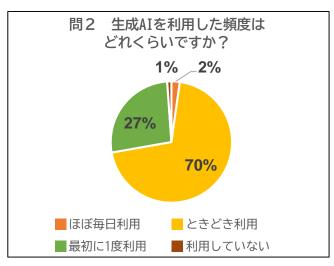
■ アンケート期間と回答者

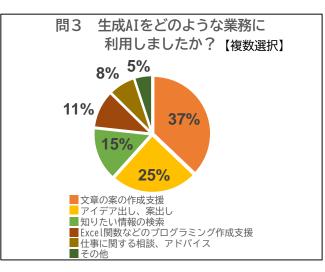
・期間 : 令和5年9月7日~令和5年9月15日

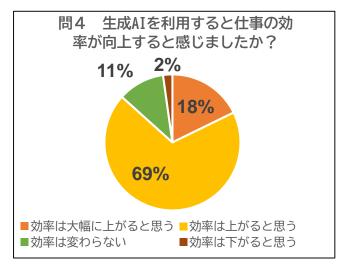
·回答者:90名

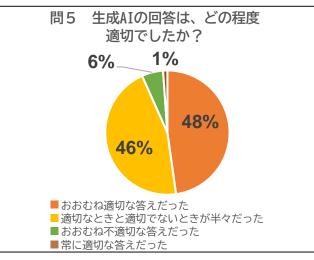
■ アンケート結果

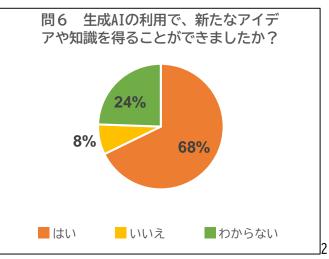






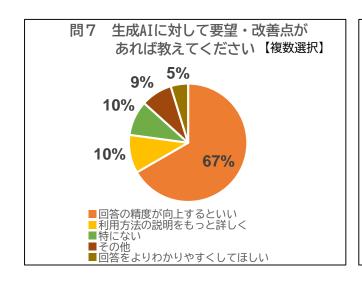


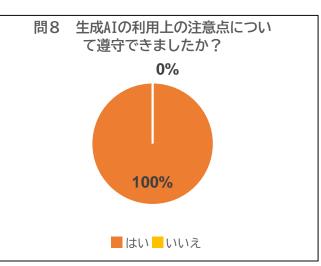


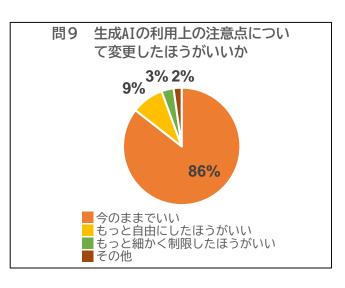


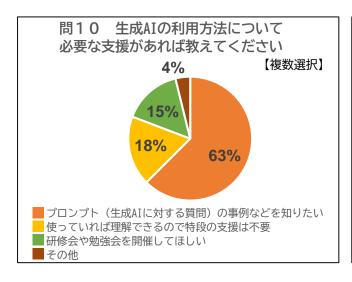
実証運用(第1弾)のアンケート結果

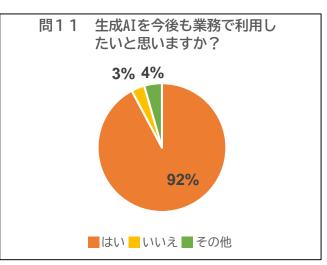












実証運用(第1弾)のアンケート結果



問12 生成AIを利用した感想を教えてください(自由記述)

- ・回答数:71件(意見52件、質問や感想19件)
- ・意見の中のポジティブな意見:47件(意見の中の90.4%)、ネガティブな意見:5件(9.6%)
- ・「便利」、「効率化につながる」、「新たな気づき」、「使いやすい」などのポジティブな意見が多い
- ・有効に使うためには「利用者の使いこなす能力の向上が必要」、「他の人の利用方法を知りたい」などの意見があった
- ・ネガティブな意見としては「回答を確認することが二度手間になる」、「思った回答が得られない」など正確性に関するものが多い

■ポジティブな意見(一部)

- ・AIということもあり、遠慮せず何も考えず利用することができた。今後も利用可能なら利用したい。
- ・便利に感じた。業務を行ううえのヒントとして活用できる。
- ・生成AIが使えないのは業務に差し支えるくらい、有用性を感じました。
- ・キーワードを複数指定した文書の生成に活用しましたが、表現や言葉遣いも概ね正確で、アイデア出しにはもってこいのツールだと思いました。
- ・アイデア案や文書作成等大変面白かったです。
- ・対人だと「申し訳ない」と思ってしまう些細なレベルでも、とりあえず「教えて!」「どう思う?」が聞けるので、壁打ち相手として非常に有益でした。 答えを鵜呑みにせず、裏取りや推敲を適切に行いつつ利用を続けられたらと思います。
- ・一から考えるのは時間を要するが、生成AIを利用する事で時間短縮になった。
- ・アイデアの抽出で悩む職員には効果的であると思う。
- ・あくまでアイディアのたたき台として活用するつもりで体験しましたが、今後継続利用が可能な場合、便利すぎて鵜呑みになる自分がちょっとこわいと思った。
- ・自分で作成した文章の違和感は分かっているが、どう修正すればいいかぱっと思いつかないときに利用し、良い校正をしてくれました。
- ・非常に便利だった。職員一人当たりの利用料が高額でなければぜひ導入して欲しい。
- ・とても使いやすいツールで大変助かりました。
- ・想像以上に的確な回答が得られたと思います。一部的確ではなかった回答もありましたが、それはそれで別の深刻な問題に対する新しい気づきになりました。
- ・想像以上のスピードで答えが返ってくることに感動さえ覚えました。

■ネガティブな意見(一部)

- ・一般的な事項については使えるが、少し専門的事項になると求めている回答と少し違ってあまり使えない印象を受けた。
- ・生成AIからの答えが正しいのかどうかを調べる必要があり、二度手間になる恐れがあり、かえって効率の悪い方向にいく懸念があります。
- ・考える手間は省けるが、成果物が意図するものであるか、利用できるものかを判断するためには結局考える必要がある。そうであれば、一から考えながら作った 方が結果に効率的になるのではないかなと思った。

実証運用(第1弾)の評価



① 実証運用において生成AIは多く利用された

・利用文字数: 925,538 文字(質問、回答の文字数)

・質問&回答数 : 1,778 回 (68.3回/日、稼働日26日)

・利用した課 : **41** 課

・生成AIをときどき利用した、ほぼ毎日利用した(問2) : **72**%

・文章作成、アイデア出しに利用した(問3) : **62**% (情報の検索は15%)

② 仕事の効率化につながり、新たなアイデアや知識を得ることができ、今後も利用の継続を希望 する意見が多い

・仕事の効率が向上すると感じた(問4) : <mark>87</mark>% (大幅に上がる、上がるの合計)

・新たなアイデアや知識を得ることができた(問6) : 68%

・今後も継続して利用したい(問11): 92 %

・生成AIを利用しポジティブな感想(問12、自由記述) : 66% %(ネガティブな意見:7%、質問や感想:27%)

③ リスク管理を行った利用ができている

・利用上の注意点を遵守できた(問8) : **100**%

・現状の利用上の注意点の内容で特に支障はない(問9) : 86 %

④ 課題としては「回答の精度の向上」と「利用方法など利用技術の向上」など

・適切と不適切が半々(問5) : 46 % (最多:回答はおおむね適切:48%)

・回答の精度が向上するといい(問7) : **67**%

・プロンプトの事例を知りたい (問10) : 63 %